

駿河台大学第一幼稚園 中期計画(2019～2021)

I. 策定に当たって

変化が激しい時代を生き抜くために、自ら課題を発見し、課題解決をしていく力を幼児期から育み、未来の作り手を育成することが求められている。一方、少子化が進む中で、共働き世帯が急増し、幼児期の教育・保育機関として保育所やこども園を希望する保護者が増え、全国的に幼稚園への入園希望者数が減少している。さらに、2019年10月より「幼児教育の無償化」が実施され、幼稚園運営はますます困難な時代を迎える。

このような時代の要請や社会のニーズに対応しながら、教育機関に求められる社会的役割を確実に果たせる幼稚園であるために「駿河台大学第一幼稚園 中期計画(2019～2021)」を策定いたします。

この「駿河台大学第一幼稚園 中期計画(2019～2021)」は、本園が2019年度～2021年度で実現すべき目標と計画を示したものであり、毎年度、達成度の検証と評価を行い、着実に目標の達成を目指します。

II. 駿河台大学第一幼稚園 中期計画(2019～2021)

本園の教育理念である「愛情教育」を基に、教職員と保護者が一体となり、全力で幼児を主体とした幼児期にふさわしい遊びや生活を通じた教育を行います。

1. ミッション(目的)

大学との連携を図ることで大学を擁する学校法人が設置している幼稚園であることを強みとし、本園の教育目標である「心もからだもじょうぶな子」、「くふうしてよく考える子」、「思いやりのあるやさしい子」の育成を目指して、幼児に生涯の学びを支える確かな力を育む、保護者や地域の人々に求められ選ばれる幼稚園運営を実践する。

2. ビジョン(目標)

3年後の目指す姿として本園が目指すビジョン(目標)は、以下のとおりです。

- (1) 人格形成の基礎や、変化が激しい時代を生き抜くために、遊びや生活などの実体験を通じた保育の中で、必要な知識や力を身に付ける教育を実践する。
- (2) 教育の質の向上を図るために、教職員同士が共に学び合い、高め合う教職員組織を形成

する。

- (3) 地域から選ばれる幼稚園として保護者や地域のニーズに対応し、子育て支援事業に寄与する。
- (4) 教育の質の維持・向上に向けて、施設のメンテナンスを定期的に行い、幼児が安全・安心して過ごせる教育環境を維持する。

3. アクション（計画）

上記「2.ビジョン（目標）」を達成するためのアクション（計画）は以下のとおりです。

- (1) 人格形成の基礎や、変化が激しい時代を生き抜くために、遊びや生活などの実体験を通じた保育の中で、必要な知識や力を身に付ける教育を実践する。

【アクション（計画）】

- ① 遊びや生活に向かって主体的に取り組む幼児を育成するために、幼児理解を深めながら適切な環境を構成し、一人ひとりにふさわしい指導を進める。
- ② 3年間の幼稚園教育が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に向かう指導となるために、教育計画を実践・評価し、必要に応じて改善を重ねる。
- ③ 健康でたくましい心や体を育むために、意図的・計画的な運動遊びの実施や、「食」への関心を高める活動を取り入れる。
- ④ 幼児の探究心・知的好奇心を高めるために、豊かな体験をもたらし、興味・関心を高める適切な教育を実践する。
- ⑤ 自己肯定感や友達と成し遂げた満足感、思いやりの気持ちを育むために、友達と相談し協力し合いながら遊びや生活をを進める機会を増やす。
- ⑥ グローバル社会を生き抜く力の芽生えを育むために、日本の良さや伝統文化に触れるとともに、他国の人や文化、言葉に触れる機会を作る。

- (2) 教育の質の向上を図るために、教職員同士が共に学び合い、高め合う教職員組織を形成する。

【アクション（計画）】

- ① 教職員の資質向上を図るために、園内研究保育・協議会の定例開催、教材研究の実施、学会・研究会への参加を継続する。
- ② 深い幼児理解のもと、幼児にふさわしい環境構成を行う力を身に付けた教職員を育成するために、週・日案や記録の質の向上を図る。
- ③ よりよい教育活動を実践し、教育品質の向上と保証を図るために、園内評価・保護者による評価に加え、外部者も含めた学校関係者評価委員会を整備し活用する。
- ④ 働き方改革に基づいた働きやすく魅力ある職場を目指して、職務を効率的に行えるようにICTの活用や会議・行事内容の見直しを行う。

- (3) 地域から選ばれる幼稚園として保護者や地域のニーズに対応し、子育て支援事業に寄

与する。

【アクション（計画）】

- ① 預かり保育や2歳児に向けたプレ保育などの子育て支援を充実する。
- ② 大学と連携し、保護者や地域の方々を対象とした子育て講演会等を開催する。
- ③ 保護者が参観・参加・参画する機会を工夫・活用して、子育ての楽しさや幼児期の重要性を知らせながら、幼稚園と家庭が車の両輪となって幼児を育てていく関係を構築する。
- ④ 園だよりの送付やホームページの内容見直しにより、保護者や地域の方々に本園の教育内容、園生活について分かりやすく発信する。
- ⑤ 地域の子育てサイトにおける情報発信、「幼稚園フェア」等へ参加し、広報活動を充実する。

- (4) 教育の質の維持・向上に向けて、施設のメンテナンスを定期的に行い、幼児が安全・安心して過ごせる教育環境を維持する。

【アクション（計画）】

- ① 施設内の防災対策、遊具等の点検・補修を行う。
- ② 教材・遊具等、環境構成の工夫や整理整頓に努める。
- ③ 衛生面に配慮し、清潔な環境を維持する。

以上